

焼き板の作り方

火をおこす

- ・半割りドラム缶（野外炊事場で実施の場合はかまど）に火をおこします。
- ・火おこしは指導者が実施しても、参加者が実施しても構いません。



板を焼く

- ・板の面全体をまんべんなく焼きます。
 - ・焼きすぎると薄くなって割れやすくなったり、炭になったりするので、焼きすぎないようにします。
 - ・火ばさみで挟んでいる部分が焼けないので、持ち替えながら焼きます。
 - ・板の切口の部分も焼きます。
- ※半割りドラム缶1つに対して、最大5～6人同時に板を焼くことができます。



たわしでこする

- ・たわしでよくこすり、煤（すす）を払います。
- ※板は高温になっています。必ず軍手をはめて行いましょう。



雑巾でこする

- ・雑巾を使用して磨きます。
- ・素手で磨いた板を触って、煤がなくなったら磨きの工程は完了です。



絵や文字を書く

- ・ポス力等を使用して文字や絵を自由に描きます。

※汚れ防止のため、机に新聞紙を敷いてから実施してください。



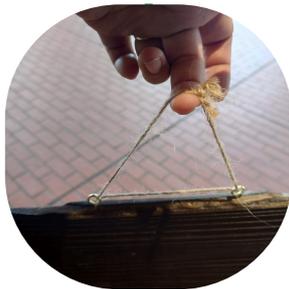
ヒートンをつける

- ・付属のヒートンを取り付けます。
- ※ヒートンは焼き板セットを注文した場合のみ付属します。



糸を通す

- ・付属の糸をヒートンに通します。
- ※糸は焼き板セットを注文した場合のみ付属します。



完成！！

- ・袋などに入れて大切に持ち帰りましょう。
- ・文字や絵が乾ききっていない場合は、乾燥させてから持ち帰りましょう。



安全上の留意点

- ・火を扱うので、長袖長ズボン、帽子、軍手を着用して実施します。
- ・板を焼く際は、板や火ばさみが他の人に当たらないように、間隔を空けるようにします。
- ・半割りドラム缶に近づきすぎると、足や手を火傷したり、服が燃えたりします。一定の距離を保ちましょう。